



第182号
2020年（令和2年）1月発行
一般社団法人茨城県高圧ガス保安協会会報

編集・発行／一般社団法人茨城県高圧ガス保安協会
〒310-0801 茨城県水戸市桜川2-2-35 産業会館12階
TEL 029-225-3261 FAX 029-225-3257
URL <http://www.ibakhk.or.jp/>
E-mail office@ibakhk.or.jp
緊急連絡電話 090-3244-8939

安全を誇れる企業と守る人 一人ひとりが監督者

年頭のご挨拶



会長
立原 孝夫

新年あけましておめでとうございます。

令和2年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

会員の皆様、また関係機関の皆様方には、当協会が実施する各種事業に対しまして、格別のご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。昨年、平成から令和へ元号が変わり、新しい時代が始まりましたが、依然として自然災害の多発する年でもありました。その中でも、台風15号や19号では、本県においても広範囲にわたる停電や河川の氾濫、決壊により甚大な被害が発生しました。幸いにも当協会の会員には人的被害はなかったものの、県北地域において数事業所が床上浸水などの被害に遭われました。被災された皆様には改めてお見舞いを申し上げます。

さて、当協会は、高圧ガスの公益性に立脚し、消費者及び公共の安全を確保するとともに、各事業

所における自主保安の確立と健全な発展を図り、もって県民福祉の向上に寄与することを目的としています。このため、本年も事業計画に「保安確保」「防災対策」「社会貢献」「広報活動」「お客様との信頼関係」「需要開発」「組織体制の強化」といった7つの基本方針を掲げ、全会員が力を合わせ、業界の発展を目指してまいります。

私共が取り扱う高圧ガスは、一般家庭は勿論のこと、LPG自動車の燃料、工業製品の原料や研究用など様々な分野で活用されていますが、保安対策や設備等の維持管理などが不適切であれば、重大な事故に繋がる恐れもあります。我々の最大の使命は、保安の確保です。引き続き、保安意識の向上に努め、更なる保安高度化を目指すとともに、お客様などへの説明を十分に行うなどの取組みを実践していかねばなりません。地震や水害など自然災害に対しては、各事業所において、設備の耐震化や洪水等ハザードマップを活用した容器等の流出防止対策などを講じる必要があります。

また、大規模災害に備え、中核充填所と連携した供給体制の構築、行政や地域と連携した各種災害対策への取り組みなどを、引き続き

進めていかねばなりません。

更に、高圧ガス業界のイメージアップを図るため、安全・安心届け活動などの社会貢献活動に引き続き取り組むとともに、需要開発に向けた取組み、高圧ガスの広報活動、組織体制の強化など、業界の発展に向け、各種事業に積極的に取り組んでまいります。

特に、LPGガス部門におきましては、人口減少、少子高齢化が進む中、LPGガスが真に消費者から信頼され選択されるエネルギーとなるため、取引適正化、料金透明化に引き続き取り組み、お客様が安心して利用できる環境を整えていく必要があります。

私ども高圧ガスに携わる事業者は、高圧ガスの製造、販売等を通じ、これまで以上に地域との連携を強化し、貢献してまいりたいと思います。

当協会は、今後とも会員皆様と一丸となって諸問題に取り組み、各種事業を推進するなど、将来に向けて歩んでまいりますので、本年もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後に、会員の皆様方のご健勝と益々のご繁栄を心からご祈念申し上げます。年頭のご挨拶いたします。

知事新年あいさつ

茨城県知事
大井川和彦

新年あけましておめでとうござ
います。

皆様におかれましては、新春を
健やかに迎えのこととお慶び申
し上げます。

昨年を振り返りますと、令和初
の国体「いきいき茨城ゆめ国体」
で、45年ぶりに天皇杯・皇后杯を
獲得するなど明るい話題がある一
方、相次いで発生した大型台風に
より、本県は甚大な被害を受けま
した。

被災された多くの方々に、心よ
りお見舞い申し上げますとともに、
被災者の皆様が一日でも早く心安
らぐ生活を取り戻せますよう、引
き続き、全力で復旧・復興に取り
組んでまいります。

さて、人口減少や少子高齢化、
デジタル経済の進展などにより、
社会情勢が急速に変化する中、私
はこれまで、茨城も変わらなけれ
ば未来に希望はないとの危機意識
を持ち、「スピード感」と「選択と

集中」を信条に、困難な政策課題
にも臆せず取り組んでまいりまし
た。

例えば、質の高い雇用の創出に
向けた戦略的な企業誘致では、成
長分野の本社機能等の誘致を数多
く実現し、喫緊の課題である医師
確保についても、明確な目標を掲
げ推し進めることで、取り組みが
結果に結びついてきております。

また、国内外からの誘客促進に
向けて茨城空港や港湾の利用拡大
に取り組み、新たな国際線の定期
便や連続チャーター便の開設、外
国クルーズ客船の新規就航など、
夢・希望に繋がる成果もあがって
きております。

さらに、将来の茨城を支える人
財を育成するため、中高一貫教育
校の設置を推進するとともに、儲
かる農業の実現に向け、農産物等
の茨城ブランドの確立、輸出拡大
にも力を入れているところです。

一方で、まだ実績をあげるに至
らない課題も残っております。こ
のため、本年は、これまで打ち出
してきた政策を、よりスピード感
を持って推し進めていくとともに、
絶えず効果検証を行い、軌道修正
が必要とあらば、躊躇せずに見直
しや追加の対策を実施し、新たな
課題に対しても積極的に対応して

まいります。

今年はいよいよ東京オリンピッ
クのサッカー競技が本県で開催さ
れます。これを契機に、茨城の魅
力を世界に発信するとともに、引
き続き一人でも多くの皆様に、
「茨城県、ワクワクするよね」と感
じていただけるような「活力があ

令和元年度

茨城県高圧ガス保安大会を開催

～85個人・事業所が受賞～

令和元年度茨城県高圧ガス保
安大会を、11月26日にフェリ
ヴェールサンシャインにおいて、

茨城県・(一社)茨城県高圧ガス
保安協会・茨城県高圧ガス地域防
災協議会・茨城県冷凍設備保安協
会の共催により開催しました。

大会には、来賓として高圧ガス
保安協会の福田敦史理事のご臨席
のもと、受賞者・関係者140名
が出席しました。

はじめに、服部隆全茨城県防
災・危機管理部長、立原孝夫(一
社)茨城県高圧ガス保安協会長、
安藤将太郎茨城県地域防災協議会
長、鴨川安男茨城県冷凍設備保安
協会長からそれぞれ挨拶があり、

り県民が日本一幸せな県づくり」
に挑戦してまいりますので、なお
一層のご支援、ご協力をお願い申
し上げます。

皆様にとりまして、本年が実り
多き素晴らしい1年となりますこ
とを心よりお祈り申し上げます。

その後、第1部「表彰式」を行
いました。

茨城県知事賞を受賞した結城市
の小篠一雄様を受賞者を代表し、
受賞に対するお礼と、「今後も
様々な課題に取り組むとともに、
安全・安心を第一に、県民の皆
様に信頼される事業者、従事者とし
ての責務を肝に命じ、精進努力し
ていく」と決意を込めた謝辞を述
べました。

続いて、今年度経済産業大臣表
彰等を受賞された方々をご紹介し、
盛会のうちに終了しました。

引き続き行われた第2部「講演
会」では、(一財)海上災害防止
センター防災訓練所長の大森春生



茨城県防災・危機管理部 服部部長の挨拶

氏により「高圧ガスの災害と防止対策について」をテーマにご講演をいただきました。

受賞者は次のとおり。

高圧ガス保安功労者等表彰受賞者

(敬称略)

1 茨城県知事賞

○保安功労者

小篠一雄 (有)ガスショップコシノ

(結城)

○優良製造事業所

(株)産業ガステクノサービスひたちなか営業所 (ひたちなか)

○優良販売事業所

茨城ガスセンター協業組合

(茨城)

関東ガスエナジー(株) (日立)

○優良製造保安責任者

杉山 宗 ルネサス セミコン

ダクタ マニユファ

クチュアリング

(株)那珂工場

(ひたちなか)

2 茨城県防災・危機管理部長賞

○優良製造事業所

大川運輸(株)

(鹿嶋)

○優良販売事業所

高萩ガス事業協同組合

沼田昭人 信越化学工業(株)鹿島工場

(神栖)

原 均 (株)クラレ鹿島事業所

(神栖)

三浦敏克 (株)みうらや

(神栖)



高圧ガス保安協会 福田理事の祝辞



受賞者を代表して謝辞を述べる小篠氏

3 一般社団法人全国LPガス協会 会長賞

○功労役員

會田道夫

(株)會田工業

(つくば)

4 一般社団法人茨城県高圧ガス保安協会会長賞

○功労役員

相山孝志

関彰商事(株)古河LP Gセンター (古河)

相澤 勝 安立サービス(株)

(神栖)

○功労支部役員

菊池一志 (有)菊池商店 (桜川)

山口孝史 山口屋商店 (潮来)

○優良製造所

茨城通運(株)大宮充填工場

(常陸大宮)

(株)エネサンス関東鹿嶋事業所

(鹿嶋)

(株)ホームエネルギー東関東竜ヶ崎センター (龍ヶ崎)

○優良販売所 (有)旭日屋 (坂東)

○優良販売所

岩井燃料店 (坂東)

大洗常澄ガス協同組合 (水戸)

関彰商事(株)笠間LP Gセンター (笠間)

玉屋ガス工業 (日立)

(株)照沼商事 (東海)

長島プロパン店 (城里)

○優良業務主任者 宇野直樹 (株)ミトレン (水戸)

海老沢光裕 茨城ガスセンター (茨城)

○優良業務主任者

大和田勝弘 大和田商店 (古河)

河原井政男 河原井商店 (古河)

佐藤 丈 佐藤石炭 (東海)

鶴田和典 (有)鶴田肥料店(笠間)

濱田政美 濱田商店 (行方)

廣瀬 正 中央石油(株)筑波支店 (筑西)

保立明彦 (有)AYA (神栖)



第2部講演会講師の大森様

○優良保安係員

- 井川 望 茨城地方広域環境事務組合 (茨城)
- 小川伸一 三菱ケミカル(株)茨城事業所 (神栖)
- 太田卓男 (株)サン・ペトロケミカル鹿島工場(神栖)
- 岡田 保 (株)旭商事 (笠間)
- 加古永治 (共)高エネルギー加速器研究機構 (つくば)
- 木内修司 三菱ケミカル(株)茨城事業所 (神栖)
- 宍戸壽郎 (共)高エネルギー加速器研究機構 (つくば)
- 清宮昭二 (株)エネサンス関東鹿嶋事業所 (鹿嶋)



受賞された会員の皆様

5 自家消費製造事業所部会長賞

○優良保安係員

- 土子一成 (株)水郷ガスセンター (潮来)
- 西村英樹 日本製鉄(株)鹿島製鉄所 (鹿嶋)
- 古山 学 JX金属(株)日立事業所 (日立)
- 細谷拓朗 塚本産業(株) (牛久)
- 安藤正明 (株)クラレ鹿島事業所 (神栖)
- 井上雄介 航空自衛隊第7航空団 (小美玉)
- 遠藤昌博 ジェイエスアールクレイトンエラストマー(株)鹿島工場 (神栖)

○優良保安従事者

- 押尾治明 エア・ウォーター(株)鹿島工場 (鹿嶋)
- 加藤隆幸 横関油脂工業(株) (北茨城)
- 草間清彦 日本製鉄(株)鹿島製鉄所 (鹿嶋)
- 坂本光由 航空自衛隊第7航空団 (小美玉)
- 関川重芳 (国)物質・材料研究機構 (つくば)
- 田中将志 (株)サン・ペトロケミカル鹿島工場(神栖)
- 高尾茂樹 三菱ケミカル(株)茨城事業所 (神栖)
- 高木義宏 AGC(株)鹿島工場 (神栖)
- 中島一徳 (国)物質・材料研究機構 (つくば)
- 中西功太 (共)高エネルギー加速器研究機構 (つくば)
- 古川一幸 日本製鉄(株)鹿島製鉄所 (鹿嶋)
- 増永広宣 三菱ケミカル(株)茨城事業所 (神栖)
- 吉村光了 三菱原子燃料(株) (東海)
- 内田信也 大川運輸(株) (鹿嶋)
- 鈴木弘徳 信越化学工業(株)鹿島工場 (神栖)
- 高橋光弘 AGC(株)鹿島工場 (神栖)

6 茨城県高圧ガス地域防災協議会会長賞

○優良事業所

- 畔野流通運輸(有) (ひたちなか)
- (株)鈴木商館筑波営業所(つくば)
- J A 茨城エネルギー(株)茨城ガスセンター (茨城)
- 三菱ケミカル(株)茨城事業所 (神栖)

○優良従業者

- 稲垣 明 大川運輸(株) (鹿嶋)
- 岩崎幸一 日本液体運輸(株)鹿島支店 (神栖)
- 小野雅道 日本無機(株)結城工場 (結城)
- 金島 明 鹿島石油(株)鹿島製油所 (神栖)
- 笹沼紀仁 日本液体運輸(株)鹿島支店 (神栖)
- 沼田 誠 JX金属(株)日立事業所 (日立)
- 安田久志 (株)カネカ鹿島工場 (神栖)

7 茨城県冷凍設備保安協会会長賞

○優良製造保安責任者

- 高島鉄也 花王(株)鹿島工場 (神栖)
- 西岡政人 花王(株)鹿島工場 (神栖)

○優良作業責任者

川又保雄 (公財)水戸市芸術振興財団水戸芸術館 (水戸)

宮下 守 新菱冷熱工業(株) (つくば)

吉田達實 常洋水産(株)水戸冷凍工場 (水戸)

○優良従業者

亀形 昇 (株)ニチレイ・ロジスティクス関東(水戸)

宮田康弘 日本化薬(株)鹿島工場 (神栖)

令和元年度経済産業大臣等表彰
既受賞者

1 高圧ガス保安全国大会 (敬称略)

①高圧ガス保安協会会長表彰

○保安功労者

滝澤賢二 (国)産業技術総合研究所

○保安功績者B

日野元勝 (株)ミトレン

森村 進 元・ミライフ(株)

2 関東高圧ガス保安大会

①関東東北産業保安監督部長表彰

○保安功労者

鈴木正人 茨石商事(株)

②関東高圧ガス保安団体連合会
会長表彰

○優良製造所

大陽日酸エネルギー(株)関東支社
水戸支店

○優良販売業者

ミライフ(株)常陸太田店

○優良運送業者

弘容通商(株)鹿島営業所

○感謝状

住谷秀一 (一社)茨城県高圧ガス保安協会

3 LPガス消費者保安推進大会
及び表彰式①経済産業省大臣官房技術総括・
保安審議官表彰○保安功労者(個人)、優良液化石
油ガス関係団体の表彰

油ガス関係団体の表彰

會田道夫 (株)會田工業

②高圧ガス保安協会会長表彰

○保安優良LPガス販売事業者
及び事業所

(有)瀬尾泰三商店

③LPガス安全委員会会長表彰

○保安優良LPガス販売事業者
及び事業所

川畑プロパン

小岩井商事(株)

(株)フカッ

④ガス警報器工業会 リメイク運
動表彰

(一社)茨城県高圧ガス保安協会

いばらき水素利活用促進 シンポジウムinつくば開催

11月15日、文部科学省研究交流センターにおいて、茨城県が主催する「いばらき水素利用シンポジウムinつくば」が開催(後援・関東経済産業局、茨城県ガス協会、当協会、関彰商事等)されました。昨年度の水戸市での開催に続き今回で6回目となります。

当シンポジウムは、平成28年3月に県が策定した「いばらき水素戦略」のもと、平成28年12月に創設された「いばらき水素利活用促進協議会」の事業の一環として、水素先進県いばらきの実現を目指すため、県民・県内企業・行政関係者等を対象に行われ、約100名が参加しました。

今回のシンポジウムは、水素に関する基調講演と先進事例等の講演が主体に行われ、最初に「燃料電池自動車の開発動向と中小企業の関連産業参入のポイント」と題して、技術研究組合FC・Cubic専務理事の大仲英巳様から燃料電池自動車の特徴、開発状況、今後の課題、中小企業の関連産業への参入のポイントなどについて、基調講演が行われました。

また、先進事例の2例が紹介され、最初に、「再生可能エネルギー導入促進に向け次世代コージェネシステムの実証」と題して、(株)日立製作所水素利用推進センター主任技師の川村徹様から、化学製造事業所などからの副生水素やてんぷら油などを混焼することによる発電システムについて、再エネ電力の安定化(変動緩和)が図れるという説明がありました。

次に、「福島水素エネルギー研究フィールドについて」と題して、東芝エネルギーシステム(株)事業統括部グループ長の山根史之様から、太陽電池で得られた電力で水を分解して水素を造り、水素を貯蔵して水素輸送車両やカードルに供給し、この水素製造装置で1日あたり約150世帯(約1か月分)の消費電力量を賄えるという説明がありました。

また、会場内に京セラ製エネファームのモックアップや筑波大学の水素発生装置を展示するとともに、会場の外では燃料電池車(トヨタMIRAI、本田クラリティ)を展示し試乗会を開催するなど、参加者からは大きな関心が寄せられました。

台風19号上陸

水戸・常陸大宮・大子などで
河川の決壊・氾濫 被害相次ぐ

大型で強い勢力を保ったまま関東に上陸した台風19号が、10月12日～13日に本県を通過し、那珂川や久慈川を中心に河川の決壊や氾濫等が発生し、甚大な被害となりました。特に、水戸市、常陸大宮市、大子町などにおいては、床上・床下浸水など広域にわたり被害を受けました。

一方、この被害ではLPガス・一般高圧ガスに関する事故の発生や会員の人的被害はありませんでしたが、床上浸水等の被害を受けた会員が2件あり、心よりお見舞いを申し上げます。

協会本部では、13日から被害状況の確認などに努め、各支部長・各部会長へ連絡し被害状況や流出容器の確認などに努めたところで



水戸市飯富地区で水害により道路が陥没



水戸市飯富地区で多くの建物などが浸水

況の確認などに努め、各支部長・各部会長へ連絡し被害状況や流出容器の確認などに努めたところで

特に、床上浸水等で水没した一般家庭等のLPガス設備等については、点検をせずに使用することは危険性もあり、LPガス販売業者等の点検を受けてから使用するよう協会ホームページに掲載し注意喚起に努めました。また、LPガス販売事業者等へは、水没した一般家庭等のLPガス設備は点検調査を行うよう要請し、事故の未然防止に努めたところです。

さらに、河川の決壊・氾濫は福島県、宮城県においても発生し、海域への容器流出の恐れもあることから、本県では、海岸線に近い6事業所に回収した容器の一時的な置場としてご協力をお願いしました。

その結果、大量の流出容器はありませんでしたが、日立港付近においてアセチレン容器1本が回収されました。

今後も気候の変動などから自然災害の発生が予想されますので、地元市町村のハザードマップなどを参考に対策を進めていくことが必要と考えます。

「ガス料金公表」及び「SBメーター設置先におけるガス警報器連動遮断」に関する調査結果

今年度、新たに「ガス料金公表」及び「SBメーター設置先におけるガス警報器連動遮断」に関する調査を実施しました。

「ガス料金公表」については、電力・都市ガスの小売り自由化を踏まえ、平成29年（平成30年改訂）に国が示した取引適正化指針（ガイドライン）に基づき、LPガス販売事業者がお客様に信頼され選ばれるために必要な「料金の透明化」を促すものです。

また、「SBメーター設置先におけるガス警報器連動遮断」については、現在展開中のLPガス快適生活向上運動において、全国目標の一つであるB級事故ゼロの達成に向け、業務用事故の防止に効果的な対策であるSBメーターと警報器の連動促進を図るとともに、現状を把握するためのものです。

今回の調査では、回収率が全国平均に比べ低い状況にありましたが、次回調査の際はご協力をよろしくお願いいたします。

なお、本調査は、来年度からは

「ガス料金公表」及び「S Bメーター設置先におけるガス警報器連動遮断」の実施状況調査結果

集計：平成31年4月末現在

	回収率	料金公表								S Bメーターの連動状況			
		HPを作成している		ガス料金を公表している			料金公表の方法			設置数	警報器 併設数	連動遮断 実施数	連 動 遮断率
		はい	いいえ	はい	いいえ	公表率	HP	店頭	両方				
茨城県	52.1%	138	338	391	85	82.1%	99	290	2	8,627	6,379	3,653	57.3%
全国平均	85.1%	5,489	12,381	16,428	1,441	91.9%	2,857	12,734	837	773,603	563,715	277,005	49.1%

毎年実施している「安全機器普及状況等及び需要開発推進運動等」

LPガス保安講習会
県内5ヶ所で実施

の調査に追加して実施されます。
調査結果は次表のとおりです。

茨城県消防安全課産業保安室及び各県民センター環境・保安課、並びにその管内支部の共催によるLPガス保安講習会が、昨年10月から11月にかけて県内5ヶ所で開催され、合計864名が受講されました。

本年度の講習テーマは二つで、一つ目は「LPガス業界の保安動向」と題し、(一社)全国LPガス協会が取り組んでいる各種保安対策について、①重大事故及びCO中毒事故ゼロを目指すLPガス快適生活上運動②自主保安活動チェックシートの推進③水害対策として充填所等における容器流出防止対策など、同協会の保安担当者から説明がありました。

二つ目は、「LPガス事業者賠償責任保険制度各種特約」と題し、同保険制度のオプションである総合賠償特約や労働災害総合補償特約などについて、損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店法人支社の担当者から説明がありました。

各事業所におかれましては、お客様の保安確保を第一に、法令遵守は勿論のこと、更なる自主保安活動を推進されますようお願いいたします。

各会場の詳細は次表のとおり。

主 催 者 名	期日・場所	受講者数	内 容
鹿行県民センター 鹿島支部 行方支部	10月23日 鹿行生涯学習 センター	137名	①演題 「LPガス業界の保安動向」 講師 (一社)全国LPガス協会 伊藤利一氏 ②演題 「LPガス事業者賠償責任保険制度各種特約」 講師 損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店 法人支社 清水香里氏
県南県民センター 土浦支部 江戸崎支部 取手支部	10月25日 イーアスつくば	177名	①演題 「LPガス業界の保安動向」 講師 (一社)全国LPガス協会 高木裕則氏 ②演題 「LPガス事業者賠償責任保険制度各種特約」 講師 損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店 法人支社 清水香里氏
県産業保安室 水戸支部 ひたちなか支部 笠間支部	10月31日 ひたちなか市 文化会館	158名	①演題 「LPガス業界の保安動向」 講師 (一社)全国LPガス協会 渡辺雅昭氏 ②演題 「LPガス事業者賠償責任保険制度各種特約」 講師 損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店 法人支社 清水香里氏
県西県民センター 下館支部 常総支部 結城支部 猿島支部	11月6日 県西生涯学習 センター	260名	①演題 「LPガス業界の保安動向」 講師 (一社)全国LPガス協会 飯田正史氏 ②演題 「LPガス事業者賠償責任保険制度各種特約」 講師 損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店 法人支社 清水香里氏
県北県民センター 日立商工労働センター 日立支部 太田支部 大宮大子支部	11月14日 常陸太田市生 涯 学 習 セ ン ター	132名	①演題 「LPガス業界の保安動向」 講師 (一社)全国LPガス協会 橋本泰臣氏 ②演題 「LPガス事業者賠償責任保険制度各種特約」 講師 損害保険ジャパン日本興亜(株)茨城支店 法人支社 清水香里氏
合 計	5会場	864名	

LPガス需要開発 セミナーを開催

液化石油ガス製造事業者部会（立原孝夫部会長）は、LPガスの日である10月10日、ホテルグラインド東雲（つくば市）において、LPガス需要開発セミナーを開催したところ、会員約60名の参加がありました。

このセミナーは、平成25年度から全国的に展開しているLPガス需要開発推進運動の一環として実施しているものですが、当日は「LPガス事業者がお客様から選ばれ続けるために」をテーマに、（一社）日本ガス協会の地方支援



講師の角田憲司様

担当理事である角田憲司氏からご講演をいただきました。

角田氏は、様々な課題がある中で、LPガス販売事業所の需要構造について、いかに負のスパイラルを望ましいスパイラルに変えて、需要増へ繋げていくかが鍵であり、そのためには、料金メニューの工夫や保安の見える化・サービス化などにより、お客様との信頼関係を築いていく必要があること、また、新たな競争時代の中で、真にお客様から選ばれ続けるために、今、何をすべきかを考えることが重要である旨説明をされました。



セミナーに参加された会員の皆様

学校・体育館用GHP 提案書作成研修会を開催

LPガス販売事業者統括部会（立原孝夫部会長）は、平成25年度から需要開発推進運動における一つの取組みとして、市町村に対するLPガス機器等の導入要望活動を実施しています。

特に、昨年度からは、災害時に避難所となる学校の体育館へGHP空調機を導入していただくことと、支部長が中心となり市町村を訪問しています。

このような中、当部会は、11月12日、水戸プリンスホテルにおいて、㈱石油化学新聞社が作



ソフトを開発された講師の土屋明様

成した学校・体育館用GHP提案書作成ソフトの研修会を開催したところ、LPガス関係会員30名の参加がありました。

講師には、GHPコンソーシアム機関紙「GAS21」の編集委員で、本ソフトを開発した土屋明氏を招き、GHP導入の概算工事費やGHPとEHPの経済比較など、市町村へ提出する提案書を作成するに際し必要な事項について研修をしました。

土屋氏は、市町村への提案にあたっては、十分に現地調査を行った上で、本ソフトを活用していただきたいと説明されました。



持参されたパソコンでソフトを操作



土浦支部が石岡ふれあい祭りへ出展



常総支部が常総ふるさとまつりへ出展

令和元年度

チャレンジ提案 補助事業

10支部が活用

LPガス販売事業者統括部会では、支部が独自に企画・立案した事業に対して、その経費の一部（原則上限10万円）を補助することによりLPガスのPRと支部活動の活性化を図ることを主な目的としたチャレンジ提案補助事業を平成24年度から続けています。

今年度は12月26日現在で、日立地方、水戸、太田、笠間、鹿島、行方、土浦、常総、結城、猿島地

方の10支部の16事業に対して経費の一部を補助、補助予定です。

主な事業としては、日立地方支部が会員向け講習会を開催したほか、市主催の防災訓練に笠間、土浦、結城の3支部が参加し、ガス発電機の展示・実演などを実施し、LPガスが災害に強く・安全性が高いなどのPRを行いました。

更に、地元の産業祭等に水戸、太田、鹿島、行方、土浦、常総、猿島地方の7支部が参加し、最新ガス機器（LPガス発電機・ガス乾燥機など）の展示・説明をしたほか、火起こし体験やアンケートを実施するなど、来場者へLPガスの利便性・安全性をPRしました。また、日立地方、笠間の2支



青年部鹿行ブロックが火起こし体験教室を実施

部が地元市の広報誌に記事を掲載し、LPガスの保安などに関する広報を行いました。

各事業とも支部役員を中心に会員の協力のもと実施され、支部活動の活性化が図られました。これらの事業を実施されていない支部におかれましては、是非、この補助事業を活用し支部活動の活性化などを図られますようお願いいたします。

《主な事業は次のとおり》

- 日立地方支部
- ・高萩市、北茨城市広報誌掲載
- ・支部会員向け講習会の開催
- 水戸支部
- ・水戸市産業祭へ出展参加

太田支部

- ・常陸秋そばフェスティバル里山フェアへ出展参加

笠間支部

- ・笠間市、桜川市広報誌掲載
- ・笠間市総合防災訓練へ参加

鹿島支部

- ・鹿嶋まつりへ出展参加

行方支部

- ・行方ふれあい祭りへ出展参加

土浦支部

- ・石岡ふれあい祭りへ出展参加
- ・つくばみらい市防災訓練へ出展参加

- ・土浦市産業祭へ出展参加

- ・石岡市総合防災訓練へ参加

常総支部

- ・常総ふるさとまつりへ出展参加

結城支部

- ・結城市総合防災訓練へ参加

猿島地方支部

- ・坂東市生き生き生活フェアへ出展参加
- ・さかい復興市へ出展参加



LPガス中核充填所 稼働訓練を実施

LPガス中核充填所委員会は、11月13日、日立市の東京ガスエネルギー（株）日立充配センターにおいて、中核充填所稼働訓練を実施しました。当日は、茨城県産業保安室の担当者、県北県民センター環境・保安課の担当者のほか、県内11ヶ所の中核充填所関係者など約30名が訓練に参加しました。

訓練は、茨城県沖を震源とする地震が発生し、県内全域で震度7を観測、県内全域で停電が発生したなどの想定で行われ、非常用発電機の電力だけでボンベへの充填



非常用電源の稼働を確認

などができるかどうかを確認しました。

当日は、①中核充填所の災害対応準備訓練②協会本部、中核充填所、卸売事業所等との連携に係る情報伝達訓練③非常用電源を使用した充填設備の稼働訓練④避難所へのLPガス供給訓練⑤非常用電源から商業用電源への切替訓練を実施しました。

稼働訓練終了後には、同所会議室において本委員会を開催し、今回の稼働訓練の成果や課題等について意見交換を行いました。全体としては、これまでの訓練成果が活かされ、テキパキとした稼働訓練となり、前回まで課題であった衛星電話での情報伝達訓練も、今



避難所へのLPガス供給訓練の様子

年度は特に問題なくスムーズにできました。

来年度からは、大規模災害時には中核充填所と卸売事業所等との連携が重要であることから、販売事業者の容器を卸売事業者が中核充填所へ持込むためのルール化を図り、重要施設等への迅速なLPガス供給ができるよう各ブロックごとに訓練を実施する予定です。

安全・安心届け隊事業 高齢者向けチラシを作成

安全・安心届け隊事業は、「高齢者見守り活動」

「かけ込み110番」としての事業所の提供、「防犯パトロールの実施」「高齢者や子供に対する思いやり運転の実施」を主な活動方針として掲げ、地域社会に安全・安心を届けるための社会貢献活動として、平成23年度から継続して取り組んでいます。

この中でも、LPガス事業者が行う「高齢者見守り活動」では、一人暮らしの高齢者へお声掛け

するなど身近で頼られる存在として活動しており、「電球を交換してあげた」「荷物を運んであげた」など毎年すばらしい事例報告をいただいております。

本年度もこの活動を推進するため、高齢者向けチラシを5万枚作成し、支部を通じて各LPガス販売店へ配付しました。なお、チラシには県生活文化課安全なまちづくり推進室の協力をいただき、「ニセ電話サギ」の注意喚起も併せて掲載しておりますので、是非、ご活用ください。



(裏)



(表)

高圧ガス関係国家試験

1382名が受験

令和元年の高圧ガス関係の国家試験は、11月10日、水戸葵陵高等学校、水戸啓明高等学校、水戸英宏中学校の3会場で実施しました。本年度は、乙種化学、乙種機械、丙種液石、丙種特別、第二種冷凍機械、第三種冷凍機械、第一種販売、第二種販売、設備士の9種類に1,382名が申込み、1,222名(受験率88・4%)が受験しました。

これに先立ち、11月7日、茨城県産業会館会議室において、国家試験を適正かつ厳正に実施するために設置した茨城県高圧ガス試験連絡協議会を開催し、国家試験申し込み状況、筆記試験実施要領を説明し、筆記試験当日の各委員の役割について確認しました。また、協議会終了後、試験監督員に対する事前説明会を開催し、筆記試験実施要領や監督員業務の注意事項、試験事故事例などの説明を行い、厳正かつ確実な試験が実施できるよう準備を行いました。

試験当日は、立原試験本部長以下監督員、監督員補助を含む131名体制で厳正かつ確実に試験を実施することができました。

関係各位に対し、改めて御礼申し上げます。

地域保安指導事業

保安講習会を2会場で開催

令和元年度地域保安指導事業(国の委託事業)の保安講習会については、県南・県西の7支部を対象に、昨年12月に開催し、95名の方が受講しました。

この講習は、LPガス販売事業者等の保安技術・知識の向上を図ることに、一般消費者等に対するLPガス供給時の事故等を防止するなど、保安の確保を図ることを目的に開催しております。

講習会では、保安専門技術者の協力を得て、「保安業務指導」の周知、緊急時連絡・緊急時対応、ヒヤリハットについて学習しました。

保安講習会の開催状況は次のとおりです。

▽土浦会場

開催日…12月18日

会場…国民宿舎水郷霞浦の湯
参加者…56名

▽下妻会場

開催日12月20日

会場…下妻市立下妻公民館
参加者…39名

第2回理事会を開催

11月7日、令和元年度の第2回理事会を理事21名及び監事2名の出席の下、茨城県産業会館において開催しました。

議事の前に報告事項として、昨年10月の台風19号に係る協会の対応及び被害状況等について、事務局から説明しました。

議事は、まず、令和元年度上半期の事業及び予算執行状況について、業務執行理事である郡司専務理事が説明し承認されました。

次に、令和2年度の役員改選における役員の数について審議が行われ、前回の改選時と同じく理事35名、監事2名にすることとし、その内訳についても前回同様とすること可決されました。

また、新規会員1事業所の加入について審議が行われ、承認されました。

なお、茨城県高圧ガス政治連盟の第2回理事会を同日に開催し、同様の議事について審議を行い、全会一致で可決されました。



高圧ガスのベスト・ソリューション・パートナー
指定保安検査機関(経済産業大臣指定) 高圧ガス保安協会認定(KP-17)

ISO9001・ISO14001 認証取得

(株)産業ガステクノサービス

〒316-0035 茨城県日立市国分町3丁目1番17号

電話 (0294)34-2811 (代表) FAX (0294)36-1411

<http://www.tnhk.co.jp>

東日本大震災から8年 経過、災害対応の再認識

一般ガス販売事業者保安講習会

(一般ガス部会)

一般ガス部会では、毎年、高圧ガス事故の未然防止を図るため販売事業者を対象に保安講習会を開催しております。

本年度は、東日本大震災から8年が経過し、また、近年、台風などによる自然災害が毎年全国で発生しており、社内対応や設備、容器などの安全管理がこれまで以上に求められております。

今回は、講師に大陽日酸㈱の技術部長を招き、災害時の対応にお



大陽日酸㈱の大岡寛典講師

ける課題や設備の安全管理、情報収集などについて、実例をもとにご講演をいただき、講師からは、各社において、災害時の行動マニュアルを整備し共有しておくことが必要との話がありました。

なお、内容は次のとおりです。

- (1) 期日 令和元年12月9日
- (2) 場所 茨城県産業会館
- (3) 内容 東日本大震災から学ぶ自主保安

講師 大陽日酸㈱北関東

支社 技術部長

大岡寛典様

(4) 出席者 60名

「酸素・アセチレン逆火 防止機能デモ実験」

一般ガス消費事業者保安講習会

(一般ガス部会)

一般ガス部会では、毎年、一般ガス消費事業者保安講習会を開催しており、本年度は県内2カ所において開催しました。

この講習会は、高圧ガス保安法及び関係政省令において、消費事業者が管理上守らなければならない事項の指導や酸素・アセチレン等の作業中における事故の未然防止に努めるものです。



小池酸素工業㈱の福永直樹講師

今回の講習会では、高圧ガスに関する座学のほか、屋外で酸素・アセチレンによる逆火防止機能デモ実験を行い、逆火の危険性を認識していただくとともに、逆火防止機能の設置を呼びかけました。

また、茨城県警察本部から担当職員を招き、車両等の盗難が県内において多数発生しており、その手口や防止対策など実例をもとに、注意喚起を行いました。

なお、開催状況は次のとおりです。

- (1) 日立地区（北焙会）
 - ① 期日 11月21日
 - ② 場所 助日立地区産業支援センター
 - ③ 内容 車両等の盗難防止について

講師 茨城県警察本部



酸素・アセチレンによる逆火防止機能実演

生活安全総務課自動車盗抑止対策係 課長補佐 富田佳昌様

・高圧ガスの取扱い及び管理方法について
講師 小池酸素工業㈱ガス部技術開発グループ 課長 福永直樹様
・酸素・アセチレンによる逆火防止機能デモ実験

④ 出席者 37名

(2) 県西地区（茨西会）

- ① 期日 12月4日
- ② 場所 茨城県県西生涯学習センター
- ③ 内容 県北地区に同じ
- ④ 出席者 49名

39本が所有者不明容器

(一般ガス部会)

一般ガス部会では、毎年、10月1日から31日までの1ヶ月間の「全国一斉特別回収運動」に併せ、長期停滞容器や所有者不明容器の回収を実施しております。

本年度は、8社から回収報告があり、長期停滞容器25本、放置容器105本、内所有者不明容器が39本回収されました。所有者不明容器のガス別では、酸素5本、アセチレン29本、フロン2本、その他2本、内容物不明容器が1本でした。

発見された容器は、消費事業者の容器置場に、他社容器が長期間放置されていた容器です。回収した会員は回収報告書を協会本部に提出していただき、それをもとに容器番号等の情報を集計したうえで全会員に提供し、12月～1月にかけて、会員相互間の容器返還作業を行う予定です。

なお、所有者不明容器はアセチレン容器が多く、関東高圧ガス容器管理委員会特別補助などを活用し処理を行っております。

今後とも容器管理の徹底を図り、事故の未然防止に努めてまいります。

LPガス
お客様相談所

相談記録の概要

今回掲載する個別相談記録は、令和元年10月から12月までの間に消費者から寄せられた13件の相談の内、4件の概要です。各会員におかれましては、このような相談事例を参考に、今後の保安や販売業務等に活かしていただけたらと考えています。相談内容の分類及びその概要は次のとおりです。

- (相談内容の分類と件数)
- ① LPガスの価格について (2件)
- ② 販売店の移動について (6件)
- ③ 設備関係について (0件)
- ④ 保安について (3件)
- ⑤ その他、LPガス全般について (2件)

年月日	相談内容	分類	処理内容
1 10 21	現在はAガスと契約している。先日の台風の際は給湯器が壊れてしまったのだが、台風の中、早急に対応してくれるなどとても良い事業者で非常に感謝している。 18日にBガスが営業に来て、販売店を替えないかと勧誘してきた。料金が安くなると言われてもAガスを替えるつもりはないと言ったが、分かってもらえず、強引に切替えさせようと何度もしつこく言ってきた。玄関に座り込み、なかなか帰らずとても怖かった。 Aガスと取引を続けたいので、もう来ないでほしいと言ったのだが、また来るような気がして困っている。 (鹿嶋市・女性)	②	LPガスの営業行為は特定商取引法の対象となり、お客様に対し威圧して困惑されるような行為は禁止されています。また、お客様から断られているのに再度勧誘する行為も禁止されています。 同じ営業の方が再度営業に来るようなことがあれば、一度、法律違反であることを警告し、それでも勧誘の話をしようであれば、行政または最寄りの警察署に連絡し通報して下さい。
1 11 20	プロパンガス協会というところから、郵便で電話連絡下さいと知らせがありました。電話を頂ければ、料金は安くなりますとの内容です。 これはいかがなものなのですか。このような協会は存在するのですか。 (鹿嶋市・女性)	②	プロパンガス協会なるものが実在する団体かどうかは承知しておりません。 なお、LPガス販売については、液化石油ガス法で規制があります。内容は料金価格の説明、備えられた設備の所有関係、保安に対する内容などであり、消費者が納得したうえで契約を結ぶことになっています。よって、電話をくれれば価格が安くなるとの話は、いかかわしいと思われます。 価格については、今お付き合いのある販売店に、このようなものが郵送されてきたと相談されてはいかがでしょう。 電話をかけるとしつこく訪問されるかもしれませんので、そのような通知は無視される方が良いでしょう。
1 12 6	個人所有のボンベにLPガスを充填してほしい。 充填してくれるところを教えてください。 (坂東市・男性)	⑤	相談者の近くの常総市やつくば市の充填所を数件教えた。そちらの充填所にボンベに充填してもらえるか聞いてみて下さい。
1 12 17	LPガスの料金について聞きたい。 友人の家のガス料金と比較したところ、私の家のガス料金は高かった。 販売店は違うかなぜ料金に差があるのでしょうか。 (土浦市・男性)	①	LPガスの料金は自由料金制になっておりますので、LPガス販売店によって料金設定に違いがあります。高い販売店もあれば安い販売店もあります。 ただ、かなり安い販売店の場合、始めのうちは安い価格で後々値上がりする事も考えられます。また、LPガスは保安なども重要になりますので、しっかりと保安などを行ってくれる販売店を選択したほうが良いと思います。 LPガス料金の単価や計算方法など詳しい内容については、取引の販売店にお問合せ下さい。



消防安全課産業保安室だより

県内におけるLPガス 事故の発生状況

●LPガス事故情報

(2019-②)

発生月…8月

場所…一般住宅

種別…漏えい

原因…ガスメーター交換時の漏えい

確認不足により、メーターユ

ニオン部よりガスが漏えい

(メーターユニオン部のパッキン

に亀裂が入っていたことが原

因と思われる)

被害…人的被害なし

☆事故防止に向けて

・容器やガスメーター交換の際は、

施工不良等によるガスの漏えい

を防ぐため、施工後の漏えい確

認の徹底を義務づけること。

・保安教育の実施に当たっては、容

器交換時等の際の標準作業マニ

アルを作成する等し、作業手順

の再確認及び徹底を図ること。

※LPガス保安技術者向けWeb

サイトにおいて、「LPガス容器

交換時等の事故防止行動マニユ

アル」のダウンロードが可能です。

【検索ワード…容器交換 マニアル】

●LPガス事故件数

(2019年)

2019年のLPガス事故件数

は、11月末時点で2件となっております

ます(前年同時期比で2件減)。

引き続き、LPガスの事故の発生ゼ

ロを旨とし、法令遵守の徹底に加え、

保安対策指針に示される取り組み

を推進されるようお願いします。

県内における高圧ガス 事故の発生状況

2019年の高圧ガス保安法に

係る事故は、11月末時点で32件発

生しています(前年同時期比で12

件減)。

内訳としては、フロン・アンモ

ニア等の冷媒漏えい19件(うち1

件は破損後の漏えい)、窒素・プ

ロパン等の漏えい12件、トラック

荷台からのボンベの転落が1件と

なっています。

高圧ガス事故は、災害につな

るおそれがありますので、高圧ガ

スを取り扱う際には、次のことに

留意すると共に、過去に発生した

事故の情報を共有するなど、自主

保安活動を推進し、事故の発生防

止に努めるようお願いします。

・作業実施前に手順や要領等をよく確認してから作業を行う。
・設備点検をよく行い、作業を行う上での安全を確認した後に作業を行う。

LPガス容器の盗難事 故について

昨年1月から11月の間に、県内

において9件のLPガス容器の喪

失・盗難が発生しております(前

年同時期比で1件減)。

特に、20kg以下の容器の盗難が

5件と盗難全体の中で大きな割合

を占めておりますので、20kg以下

の容器を設置する場合には、プロ

テクターの中を通して鎖を掛けた

り、容器同士を連結するなど、安

易に容器を取り外しできない措置

をお願いします。

また、空き家における盗難が1

件、消費者宅を更地にした際の喪

失が2件ありましたので、早期の

容器撤去など管理の徹底をお願い

します。

万が一、LPガス容器の盗難が

発覚した場合には、「茨城県液化

石油ガス事故措置要綱」で定める

とおり、直ちに「事故発生報告

書」を提出いただくとともに、後

日、詳細について「事故届書」と

併せてご報告願います。

○関係様式のダウンロード
【検索ワード…茨城県液化石油ガス事故措置要綱】で検索願います。

高圧ガス運搬車両の指 導取締りについて

令和元年11月6日から21日まで

の間に、県内5か所において高圧

ガス運搬車両(ローリー車9台、

バラ積車両9台)の指導取締りを

実施しました。

その結果、ローリー車1台及び

バラ積車両1台において、高圧ガ

スの移動に係る技術上の基準不適

合の事項(警戒標の不備、高圧ガ

スの名称、性状及び移動中の災害

防止のために必要な注意事項を記

載した書面(イエローカード)の

不携帯)が認められました。

高圧ガスを運搬する車両には、

車両の前後及び後部の外部から見

やすい場所に警戒標を掲げるとと

もに、可燃性ガス、毒性ガス、特

定不活性ガス又は酸素の高圧ガス

を運搬するときは、イエローカー

ドを携帯するようお願いします。

また、消火器や応急用資材及び

工具等は、高圧ガスの移動中に発生

した災害の拡大防止に資するもので

すので、常に使用できる状態で携行

しなければならない基準があります。

各事業所におかれましては、高

圧ガスの移動に係る技術上の基準を再確認するとともに、保安の確保をお願いします。

大雪による液化石油ガス供給設備の損傷防止について

大雪の際には、屋根等からの落雪の他、カーポートなどの破損などにより、ガスボンベ付近の供給設備が損傷する可能性があります。検針・容器交換時、定期点検等の際には、落雪の影響を確認し、供給設備の損傷防止に務めていただきますようお願いいたします。

※経済産業省ホームページよりパンフレットが閲覧できます。

【検索ワード】経済産業省 LPガス 大雪

問い合わせ・連絡先

県北県民センター 環境・保安課
TEL 0294 (80) 3355
FAX 0294 (80) 3357

日立商工労働センター
TEL 0294 (21) 6711
FAX 0294 (21) 6712

鹿行県民センター 環境・保安課
TEL 0291 (33) 6056
FAX 0291 (33) 5638

県南県民センター 環境・保安課
TEL 029 (822) 7067
FAX 029 (822) 9040

県西県民センター 環境・保安課

TEL 0296 (24) 9140
FAX 0296 (24) 7813

消防安全課 産業保安室

TEL
(LP) 029 (301) 3594
(高圧) 029 (301) 2891
FAX 029 (301) 2887

会員の皆様へ

▼会員の登録についてお願い

当協会へご登録いただいている情報に変更が生じた場合は、「名称・所在地・代表者氏名の変更届」の書式を使用し、ご提出下さい。また、事業所様でメールアドレスをお持ちであればご登録願います。書式は協会ホームページ (<http://www.ibahk.or.jp/sub10.html>) から取れますのでご利用下さい。

今月号の会報と一緒に「現在の登録状況」を同封いたしましたので、ご確認下さいますようお願いいたします。

▼会費の引落口座について

毎年、会費の引き落としを7月初旬にさせていただいております。口座の変更や今後引き落としをご希望される場合は、協会へ5月中旬迄にご連絡下さい。

▼販売のお知らせ

協会では左記の『周知文書』等を販売しておりますのでご利用下さい。送料につきましては、実費負担となります。協会ホームページにも掲載されておりますのでご参照下さい。

《LPガス用周知文書》

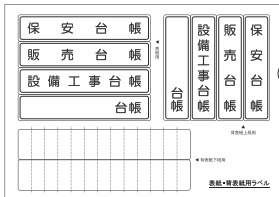
- ・ 家庭用 29年度版 15円
- ・ " 27年度版 15円
- ・ " 26年度版 14円
- ・ 業務用 29年度版 21円
- ・ " 28年度版 21円
- ・ " 26年度版 21円
- ・ 家庭用(英語) 28年度版 79円
- ・ " 27年度版 79円
- ・ 家庭用(中国語) 29年度版 122円
- ・ " 28年度版 122円
- ・ 家庭用(ポルトガル語) 29年度版 122円
- ・ " 27年度版 122円
- ・ 災害パンフレット 29年度版 35円
- ・ " 26年度版 35円

《一般ガス用周知文書》

- ・ 溶接・熱切断用 (一般ガス会員) 33円
- ・ " (一般ガス会員以外) 220円
- ・ 放置容器は危険のチラシ 10円
- ・ " (一般ガス会員以外) 20円

NTバイNDER-50 A4

タイトルは付属のシールの中から選んで貼付して下さい。



D式金具
30穴
記帳が楽な
開閉2段式



保安の決め手は整理から！

NTバイNDER 50は各種液石法管理台帳に対応します。

例：保安台帳用紙と、別売のA4フィルムホルダ(透明・PP製)に14条・調査票・記録紙等を収納し、交互にファイルします。

■ 営業品目

- 液石法関連法定台帳・帳票類
- 単票・連続・ロール紙等 各種名入伝票印刷
- 6条シール・緊急連絡先等 各種シール印刷
- 施工後の表示板・配管スタンプ・携帯バイナ
- LPガス保安カレンダー ● コンピュータシステム他

株式会社 スタックプランニング

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町84-8

TEL: 03-3958-4505 FAX: 03-3958-4345

会員の消息

（10月1日から12月31日）

【名称・代表者の変更】

- 日揮(株)技術研究所→日揮ホールディングス(株)技術研究所
藤村靖→本田一規（大洗町）
- なめがた農機燃料(株)ガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)なめがたガスセンタ（行方市）
曾根金作→藤田一雄
- 常陸農業協同組合北茨城ガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)北茨城ガスセンタ（北茨城市）
秋山豊→藤田一雄
- 常陸農業協同組合里美給油所→J A 茨城エネルギー(株)里美ガスセンタ（常陸太田市）
秋山豊→藤田一雄
- 常陸農業協同組合十王支店→J A 茨城エネルギー(株)十王ガスセンタ（日立市）
秋山豊→藤田一雄
- 常陸農業協同組合ひたちなかガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)ひたちなかガスセンタ（那珂市）
木村人司→藤田一雄
- 常陸農業協同組合笠間ガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)笠間ガスセンタ（笠間市）
秋山豊→藤田一雄
- 常陸農業協同組合大宮ガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)大宮ガスセンタ（常陸大宮市）
秋山豊→藤田一雄
- 常陸農業協同組合大子給油所→J A 茨城エネルギー(株)大子ガスセンタ（大子町）
木村人司→藤田一雄
- 常陸農業協同組合太田ガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)太田ガスセンタ（常陸太田市）
秋山豊→藤田一雄
- (有)ジェイエイ水戸グループサービスLPガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)水戸LPガスセンタ（水戸市）
井坂英嗣→藤田一雄
- 新ひたち野農業協同組合ガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)ひたち野ガスセンタ（石岡市）
富田修一→藤田一雄
- 水郷つくば農業協同組合土浦LPガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)土浦LPガスセンタ（かすみがうら市）
池田正→藤田一雄
- 常総ひかり農業協同組合下妻ガス保安センタ→J A 茨城エネルギー(株)下妻ガス保安センタ（下妻市）
塚本治男→藤田一雄
- 常総ひかり農業協同組合LPガスセンタ→J A 茨城エネルギー(株)水海道ガスセンタ（常総市）
塚本治男→藤田一雄

【名称の変更】

- (株)全農ライフ茨城クミアイガスセンタ→水戸→J A 茨城エネルギー(株)茨城ガスセンタ（茨城市）

- (株)全農ライフ茨城クミアイガスセンタ→下妻→J A 茨城エネルギー(株)下妻ガスセンタ（下妻市）

- (株)全農ライフ茨城みなみ販売所→J A 茨城エネルギー(株)みなみガスセンタ（守谷市）
- (株)全農ライフ茨城クミアイガスセンタ→江竜→J A 茨城エネルギー(株)江竜ガスセンタ（牛久市）

【代表者の変更】

- 片倉コープアグリ(株)関越支店茨城事業所つくば工場（筑西市）
齋藤正明→内田徹
- 関口石油店（城里町）
関口陸夫→関口克明
- (有)生天目石油店（那珂市）
生天目功→生天目伸
- 高須石油店（大洗町）
高須恒夫→高須功
- (株)旭商事（笠間市）
村田定男→村田大地

【住所の変更】

- 関彰商事(株)水戸支店
ひたちなか市枝川277→水戸市笠原町1514-3

【脱会】

- LPガス関係

3社

編集後記

新年明けましておめでとうございます。

令和2年の新春を迎え、会員の皆様方にはお健やかな新年を迎えられたことと思います。

今年もよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年5月1日の新天皇即位にともない元号も「平成」から「令和」へと改められました。今年、令和となって初めてのお正月となりますが、干支は「庚子」の年になります。

「庚子」の「庚」は象形文字で、一説によると一つの生長が止まって、新たな形に変化しようとする様子から来ているそうです。

「子」はもちろん十二支の一番目、新たなスタートとなりますので、私としては「成長してきたパワーを、今までは違う形に変化させて新しいステージを作り上げていく」というイメージです。

いずれにせよ新たな時代の始まりになることは間違いのないようです。

本年も素晴らしい一年となりますよう会員皆様のご繁栄とご健勝をご祈念申し上げます。